

吉田みのるの MY 通信

Minoru Yoshida



6月議会特集号

4月の市議会議員選挙にて、1,851,245票の多くの皆様のご支援を頂き、新たに2期目を迎えることが出来ました。

引き続き、市民の皆様のためになるような政策の実現に向けて取り組んで参ります。そして…

「子どもたちが誇れる春日部に」を実現するために、
全力で取り組んでいきます!!

2期目の主な役職

- ◇厚生福祉委員会 副委員長
- ◆議会運営委員会 副委員長
- ◇議会改革検討特別委員会 副委員長
- ◆埼葛斎場組合議会 代表者
- ◇次世代 かすかべ! 事務局長
- ◆春日部市「庄和大風文化保存会」 顧問
- ◇西宝珠花区 理事
- ◆防災士

◆ 6月議会補正予算の主な内訳 (一部抜粋)

○4回目のワクチン接種事業 約4.3億円

対象者は60歳以上:約8.1万人、18歳~60歳までの基礎疾患をお持ちの方:約1.7万人

○子育て世帯生活支援特別給付金 約2.8億円 ※昨年度も実施の事業です

ひとり親世帯・ひとり親世帯以外の子育て世帯(一部受給要件有)へ、児童一人あたり5万円の給付

↓新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金(6.8億円)を活用し

原油や物価高騰の影響を受けている市民や事業者のために、以下の内容に取り組みます。(一部抜粋)

【市民の方への経済支援】

○学校給食費支援事業 約1.2億円

食材の高騰分(20円/1食)に相当する費用を市が負担し、栄養バランスの取れた質の良い給食を安定的に提供する。

○生活支援臨時特別給付金給付事業 約2.6億円

令和4年度、住民税均等割のみ課税されている世帯を対象に、1世帯あたり5万円を支給する。

○75歳以上の高齢者への商品券の贈呈 約1億円

敬老会の開催に代えて、75歳以上の高齢者に対して、1人当たり2,000円の商品券を贈る。

【市内事業者・農業経営者への経済支援】

○ビジネスサポート応援給付金支給事業 約1.4億円

国の事業復活支援金を受給した事業者に対して、1事業者当たり5万円、法人10万円を支給する。

○水稻経営次期作支援事業 約4千万円

米価が大幅な下落をした米生産の農業経営者を対象に、次期作付けに必要な米の種苗の購入費用相当額を支援する。

6月議会で取組んだ一般質問について (一部抜粋)

「春日部市の職員派遣について」

- 令和4年4月から、さいたま市と茨城県境町へ職員さんを1名ずつ派遣しているが、それぞれの自治体へ職員さんを派遣した経緯を伺う。
- さいたま市では公民連携など行財政改革を積極的に推進している。境町では移住・定住促進を推進し、先進的かつ大胆な取組を行っている。これらの手法を学びたいと考え職員の受入れを要請した。
- さいたま市・境町へ派遣した職員さんは、どのような課に配属され、戻ってきた時にどのような効果を狙っているのか。
- さいたま市：都市戦略本部行財政改革推進部に配属。行財政改革、職員の意識改革に向けた事業に取り組む。帰任後は、経験した手法を展開していくことを期待している。
境町：企画部地方創成課に配属。補助金を活用して様々な先進的な事業を展開している。学んだ補助金の活手法などを取り入れていくことを期待している。
- 先進事例を学ぶ事は有意義な事で、更に積極的に取組んでほしいと思いますが、今後の職員派遣の方向性を伺う。
- 課題としている分野について、先進的な取組をしている自治体への派遣を検討していきたいと考えている。
- 要望：他市で大成功しているノウハウを学び、春日部市の更なる発展のために積極的に様々な分野にて職員派遣に取組んでほしい。**



「これからのコロナ禍のイベントについて」

- 3年ぶりに無観客で開催された「春日部大凧あげ祭り」ですが、伝統文化・技術の継承という点で、大変意味のある祭りとなりましたが、例年と違い、開催にあたって苦慮した点を伺う。
- 露天商、引手の一般募集なし。引手参加者に祭り前後2週間の検温などの体調管理。周辺道路への無観客開催の周知看板の設置
- 祭り当日の状況・祭り後のコロナ感染者の推移を伺う。
- 引手の受付にて、検温と2回以上のワクチン接種済証の確認。
大凧の引手の綱に抗菌スプレーを塗布。警備員を前回から32名増員。お祭り当日に路上駐車違反で取り締まった車両はなく、大きな混乱はなかった。クラスターの発生はなく、コロナ感染者は1日平均20人前後で推移している。
- 今回の大凧あげ祭りでも、コロナ禍での無観客イベント開催における「春日部市独自のガイドライン」が出来上がったと感じているが、今後の市内の各種イベントについての基準や考え方について伺う。
- 各種イベント主催者に可能な限りの情報提供等のサポートを行い、連携を図りながら開催出来る方法を模索し調整を図っていく。
- 要望：十分な感染症対策をした上で、コロナ禍で落ち込んでしまったまちや市民を元気にするためにも、積極的なイベントの開催を望みます。**



上若組の大凧「春日部」



下若組の大凧「躍進」
(春日部経済新聞から引用)

新たな会派「次世代かすかべ！」として議員活動を再開

(画像左より、阿部雅一議員、吉田みのる、小久保博史議員

栄寛美議員、伊藤一洋議員、奥澤裕介議員)

◇議員として、好き嫌いという個人的な感情ではなく、一言一言に責任を持ち、市民の皆さんの為に、今よりも更に住みやすい春日部にするために様々取組んで参ります。

